

調布市文化協会

調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

節目となる調布市民文化祭六十周年に向けて

調布市生活文化スポーツ部部长 八田 主税

この度、調布市文化協会広報誌（「会報」）に寄稿の機会をいただきましたありがとうございます。この場をお借りして、日頃の文化・芸術の献身的なご活動に心より感謝を申し上げます。

はじめに、四月から担当させていただいている私の自己紹介と就任のご挨拶を簡潔にさせていただきます。

私は、『都会のふるさと調布』下石原で育ち、現在飛田給に在住する調布っ子です。ただし、両親が石川県金沢出身であり、生粋の調布っ子ではありませんが…

今から五十年前に開催された東京オリンピックを母の背中で見、地元の幼稚園・市立小・中学校にお世話になり、市役所に入所して、さらにお世話になっております。

これまでの職場は、京王閣競輪での収益事業担当からスタートし、健康保険・財政・行政資料・産業振興などの担当を経て、現職に至っております。

なお、昨年まで担当させていただいたスポーツ祭東京2013（東京国体）に際しまして、文化協会の皆様にご協力を賜り、無事成功裏に終了できましたことを御礼いたします。

さて、文化協会を所管する生活文化スポーツ部の主担となり、早くも三カ月余が経過しました。これまでの職場で経験する機会がなかった市民の文化・芸術振興、男女共同参画の推進、地域コミュニティの支援、市民の生涯学習やスポーツの振興など、新たな分野でとてもやりがいのある

役割だと考えております。

一足飛びの改善はできませんが、市民のお役に立つ所（市役所）のサービスマン・コーディネーター役として取り組んで参ります。

来年、文化協会が主体運営で行う市民文化祭は創立六十周年を迎えられます。

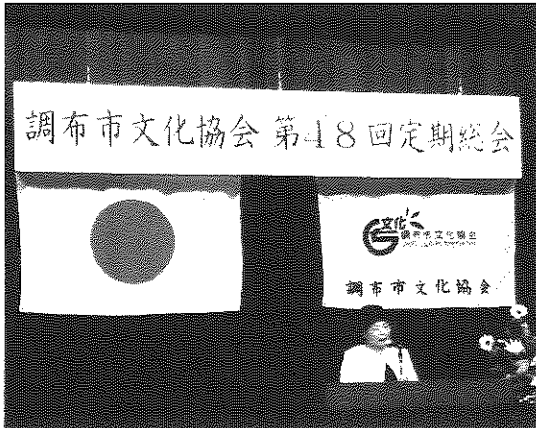
新しい暦を刻む市民文化の出発点、節目の市民文化祭六十周年に向けまして、文化協会の皆様の益々の御活躍と、本協会のさらなる御発展を心より祈念いたします。

四月一日付で文化協会の所管でもあります生活文化スポーツ部部长に八田主税氏が就任されました。

八田氏は、昨年調布市の味の素スタジアムをメイン会場として開催された「国民体育大会および全国障害者スポーツ大会」を担当され、各種イベントの企画にあたっては当文化協会活動をご理解の上参加要請を持ち掛けてくださり、様々な場面で遠慮なくこの調布市の一大事業に参画させていただく事ができました。

苦節48年文化協会活動は行政との信頼関係が確立されているからこそ継続できるもの。就任されてからでは無く当協会活動を熟知されている部長の就任は、今以上に高度な文化協会の在り方について、じっくりと協議できる関係となるものと信じて止まない次第です。

調布市文化協会会長 高岡 宮子



2014(平成26)年度
調布市文化協会第48回定期総会

日 時 2014年4月25日(金)18時～
会 場 調布市文化会館たづくり
12階大会議場
出席者 82人 委任状 7人
(構成員89人)
議 長 有川 和子氏 (美術協会)

第48回定期総会開催される

第48回定期総会が標記の通りに開催されました。

恒例の通り高岡会長挨拶に始まり、ご来賓を代表して長友市長及び林 明裕市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長に美術協会の有川和子氏、書記に調布映像協会の吉田正夫氏が指名され、議事に入りました。

第1号議案 25年度事業報告

第2号議案 25年度一般会計

決算報告及び会計監査報告が行われ、それぞれ承認されました。

第3号議案 文化協会役員の承認

第4号議案 26年度事業計画(案)

第5号議案 27年度一般会計予算(案)が審議され、いずれも異議なく承認されました。

調布市文化協会役員

任期
平成二十八年三月三十一日まで

〔会長〕

高岡 宮子(フラワーデザイン協会)

〔副会長〕

岳野 勝治(奇術協会)

加藤 弘子(民謡舞踊好友会)

〔事務局長〕

小川美代子(書道連盟)

〔会計〕

山岸 直子(ハワイアンフラ協会)

田代せつ子(三曲協会)

〔庶務〕

吉田 正夫(調布映像協会)

友澤 常三(将棋連盟)

齋藤 泰子(工芸美術協会)

横山美沙子(歌謡同好会連盟)

〔会計監査〕

齋藤 一正(歌謡同好会連盟)

今中 秀昌(将棋連盟)

第59回調布市民文化祭のご案内
開催期間 10月16日(木)～11月16日(日)

今回のテーマ

「未来へ伝えよう文化のこころ」

今年10月16日(木)開会式・アクションとして4plusによる25絃箏演奏が行われます。

10月18日(土)19日(日)には例年通り、「文化祭プラザ」が市役所前庭で囲碁や将棋の自由対局。たづくり東側広場では、コピー販売や工芸の実技コーナー、フラダンス、吹奏楽、新舞踊などの野外ライブも行われる予定です。

そして、「発表部門19団体」「展示部門7団体」の発表が順次行われます。

また期間中 10月25日(土)～11月2日(日)の間、東部・西部・北部各公民館を中心とした地域文化祭も行われます。

(但し27日(月)は休館日)

塩釜市芸術文化協会との交流懇談会

文化協会役員 田代せつ子

5月25日、26日、塩釜市芸術文化協会との交流会に調布から30名が参加しました。朝6時の集合にもかかわらず皆様元気に出発。今回は大きな震災に会われた塩釜・松島を見舞う研修でもありました。バスは被害の大きかった荒浜海岸近くをゆっくり走り、畑や田んぼ・イチゴハウスなど実りの豊だった仙台平野は大きな津波にのまれ三年



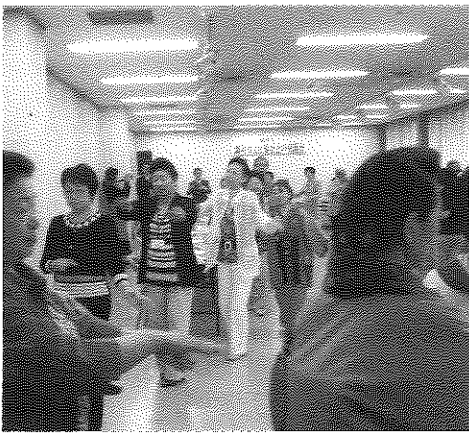
余り。少しづつ緑も増え新しい町に生まれ変わりつつありました。

塩釜には予定より早めに着き安心。おいしい地元のお寿司屋さんで腹ごしらえ、いよいよ塩釜市公民館での交流会です。芸文協の皆様が暖かい拍子に迎えられ、オープニングは「塩釜甚句」。民謡大会で二位のかわいい中学生の張りのあるすばらしい唄、妹さんの太鼓、

若いおばあさまの三味線、それに皆様の息の合った美事な踊り、板橋たま子会長のすばらしい話術に（幼少期を塩釜で過ごした私には）涙が出るほど嬉しかったです。高岡会長もすっかり板橋会長と話がはずみユーモアたっぷり笑い声のあふれる交流会となりました。

塩釜みなと祭りで踊るよしのリズムの「よしの塩釜」を全員で踊り充実した楽しい交流会となりました。

塩釜市の皆様すばらしいおもてなし嬉しかったです。ありがとうございました。



第24回「木島平村芸術文化協会との文化交流」参加者募集

調布市文化協会と木島平村芸術文化協会との姉妹都市文化交流事業の一環として、木島平村の第30回夏祭り「盆踊り」に参加し、木島平村芸術文化協会との「交流会」を行い相互の親睦を深めるものです。

日時 平成26年8月9日(土)10日(日)
宿泊先 パノラマランド木島平

費用 一四,〇〇〇円(宿泊費、昼食2回、交流会費、保険、見学料等)

申込先 所属団体又は文化協会事務局



塩釜市との研修交流に参加して

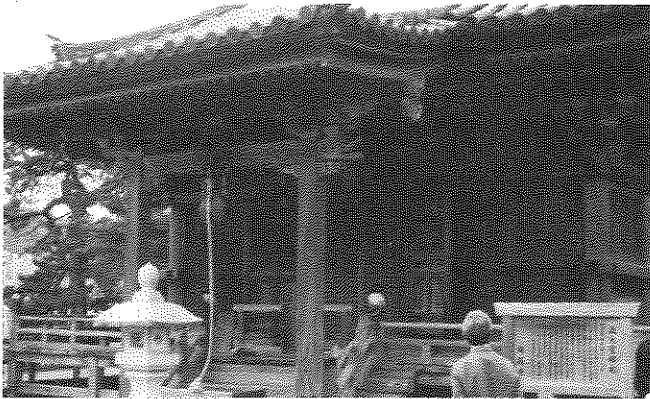
文化協会役員 友澤 常三

私は、塩釜についてあまり知り
ませんでした。が、塩釜市の日本舞
踊の皆さん方の歌と踊りの出迎え
をうけて、和やかな雰囲気なか、
ざつくばらんに討論しているうち、
多少塩釜を理解したような気分にな
れました。

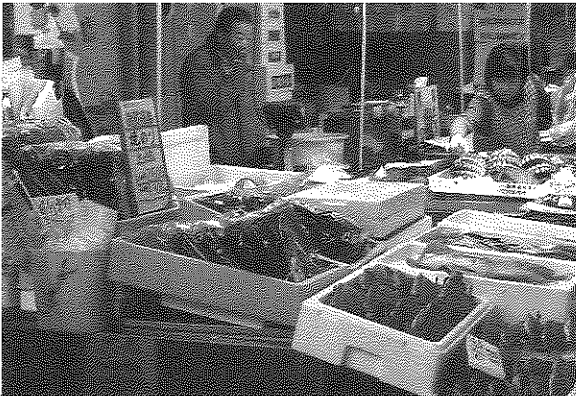
生マグロ漁獲量日本一の漁港、
中卸市場を見学し、塩釜神社にお
参りして、塩釜市の存在価値など
を知りました。
津波からの復興はまだ半ばのよ
うですが、今後の健闘を心からお
祈りするところです。



塩釜神社



松島を象徴する五大堂



塩釜水産物仲卸市場



修復工事中の浮棧橋



松島湾に建てられた慰霊祈念碑



青葉城跡に立つ伊達政宗像

第17回 生涯学習講演会

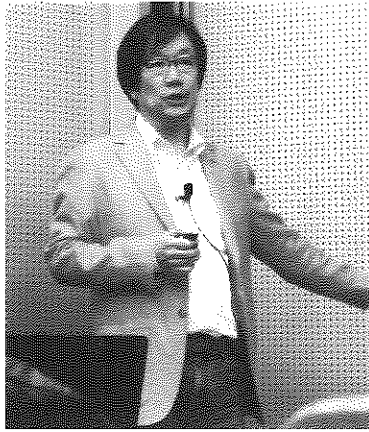
テーマ 自然災害と防災情報／講師 木原 実氏(気象予報士・防災士)

文化協会役員 吉田 正夫

平成26年3月1日調布市文化会館たづくり8階映像シアターにおいて「自然災害と防災情報」をテーマとした講演会が日本テレビの天気コーナー担当で気象予報士の木原実氏によって行なわれました。

今回は都市直下型地震が想定されているので阪神淡路大震災の実態を参考として具体的に説明されました。

一、地震の場合は家具など特に冷蔵庫は床を走るので絶対に押さない。ガスの火は自動的に消える



ので慌てて消さない。二、家具と天井の間には隙間を設けない。三、被災者の確認と救出作業を効率的に行なう為に常に隣近所の人達と情報を交換する。四、家が倒壊した場合緊急避難所の利用となるが生活環境は非常に厳しいので出来るだけ自宅で暮らせるように常に考えて準備しておく。
今回の講演会では災害発生に対応する必要な準備や心構えが理解されて非常に有意義でした。

調布市長と語る懇談会

文化協会

副会長 岳野 勝治

日時 平成26年5月19日(月)6時～
会場 たづくり1001会議室

長友市長をお迎えして、文化協会理事、役員との懇談会が持たれました。なごやかな雰囲気の中、次の様な意見が交換されました。

○少子高齢化と云われているが、すでに日本の全体的な人口減少が始まっている、市の対策は？

○サークル活動の会場確保がむずかしい。利用条件に合う会場が欲しい
○調布駅前広場の活用方法について(・朝市(マルシェ)の開催・盆踊りの復活、等々)

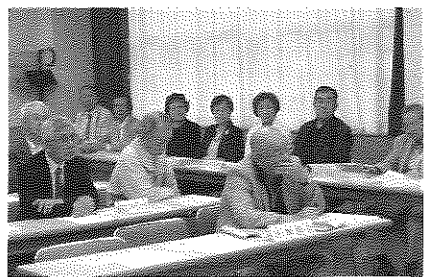
調布市長からは、まだ不況をひきづっている中で京王線の地下化



に伴う、駅前広場、近接駅周辺の再開発は近年類を見ない事で、数年後の出稼上がりが見えしきりである。

少子高齢化問題はやがては来る問題であり、思い切った施策を行う必要がある。高齢者の方が健康で快適に過ごしてもらう為にも、趣味の世界に参加して下さる事も大切で、市としても力を入れているが、文化協会傘下の団体サークルに期待する所大である。

新たな会場建設は、予算の優先順位があり、現在まだ設備を急ぎ改修しなければならぬ学校もある状況であるが、今後を見据えて計画してゆかなければと考えている。
以上予定された時間もあつと云う間に過ぎてしまいました。



実技講座

古典臨書く倣書へ高野切第一種

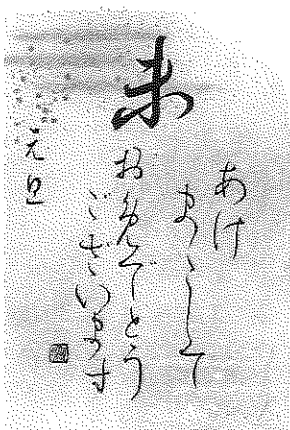
書道連盟 小川みよ子

「かな」は、漢字から生まれた

日本独自の文化です。万葉仮名・カタカナ・変体仮名・平仮名と、時代とともに使われる形も変化し現代に至っています。日本人として、文化として「かな書道」の基

本を、楽しく学んで頂きたい企画しました。高野切は、古今和歌集の現存する最古の写本です。巻九の巻頭(第一種)の断簡を掛物に仕立てたものが、和歌山県高野山に伝えられていたことから付いた名前です。同種の料紙の書かれたものを、書風により一種・二種・三種に分けて

- ① 原稿をつくり書く
- ② 作品制作の一步として散らし



書きの工夫
 ③ 年賀状など、身近なものに利用工夫する
 と、段階的に学んで頂くよう構成しました。
 参加者のかたがたは、苦勞しながらも、楽しんで下さったようです！秋の文化祭に、仕上がった作品の一部を展示致しますので、お楽しみに！

デジカメ&ビデオ初級講座

映像協会 黒澤 眞

今年のデジカメ&ビデオ初級講座は4月15・16日の2日間開催しました。16名の方が参加しました。

最近ではスマホの普及が著しく写真の撮影にはスマホを利用する人や一段と高級志向により一眼レフ等を使う人が増えてきましたが、やはり日常のスナップ写真や記念行事には簡単に撮影出来るデジカメの人気は衰えず多くの人が利用しています。

しかし最近発売のデジカメは高性能が進み取扱説明書を見ても使い方が良く分からないと云う人も多く折角カメラを買ってもそのまま放置している初心者が大勢います。

講習会ではそんな人達を対象にカメラを買った時に最初に行う設定や撮影した写真の確認をする事から始まって、特に初心者が苦手

とする手振れ防止、半押しでのピント合せを重点的に学習しました。
 今年も簡単な野外でのミニ撮影会を行い、外の景色や講習参加者同士の人物撮影を行いましたので更に理解が深まったと思います。
 又、パソコンを使用して撮影した写真をパソコンに取り込みアルバム作りや簡単な修正作業も行いました。席上デジカメに対応したパソコン教室の開催を要望する声が出ました。



実 技 講 座

アイロンで簡単染色山の幸染め

工芸美術協会 風当 律子

調布市文化会館たづくりにて四

月二十五日より三回行いました。

一回目には調布工芸美術協会の大山雅子会長より文化協会主催の実技講座として行われることの説明がありました。

山の幸染めは、火も水も使わずアイロンの熱で染める画期的な染色ですが、まだまだ知られていません。始めのうちは参加人数も少なかったのですが南ギヤラリーで、工芸美術協会展の開催中にお誘いして、沢山の方に参加頂きました。

一回目は薄い生地のリョーゼツトのスカートに、押し葉押し花の形を染めオリジナルスカートができました。くつきりと葉脈や花の形が染まる事に、驚いたり喜んだりしました。同じ材料・素材なのに個性豊かな作品に大変盛りあが



りました。

二回目は風呂敷、三回目はストールを染めました。あつという間の二時間で、とても楽しんで頂けました。

募集タイトルをもっと工夫すればよかったと思いましたが、沢山の参加者のお陰で、充実した実技講座になりました。

初心者のための将棋講座

将棋連盟 友澤 常三

去る五月二十四日、三十一日、六月七日の三日間「文化会館たづくり」で開催しました。

講師には、日本将棋連盟の中村修九段（元王将）をお願いしました。参加者は二十四名で、中学生

六名、一般男性二名、女性十六名でした。参加者のほとんどが高齢の方で最近将棋は頭を使うゲームなのでボケ防止に役立つと云うことが女性の間で人気があるようです。全く将棋を知らない方がほぼ半分でしたが二日目の一手詰将棋の例題がとけるようになって、何だかパズルを解いているようで夢中になりましたと高齢の女性の方に言われると本当に嬉しくなりました。

中村先生の他調布市将棋連盟会員五名が全員で講座を手伝いました。三日間の講義を終わると多少は将棋が指せるような気分になっ



ていただいたようです。

高齢者のための同好会を調布市将棋連盟では月に三日間開いていますが参加を希望される方も何人かいて嬉しい限りです。

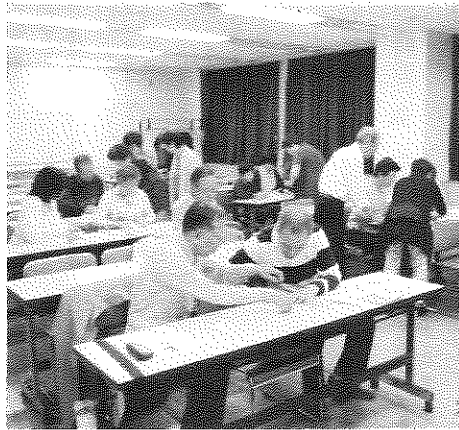
実 技 講 座

「初めてのマジック」

初日は朝から大雨で、出足が心配でしたが、受講希望者15名中、14名のご参加があり、ひと安心。

実技講習の主旨を説明してからマジック3原則のお話し、マジックの仕組は盲点を利用して、マジックで、目の前で行われ、見えているはずなのに、わからない。その対処を一人づつ実際に確認しながら演技頂きましたが、何回か繰り返しえられて、やっと納得。

「今回の実技講習は演目は少なくなっても、受講者の方が確実に自分のものになるように」との指導目標で実施する計画であったので、すぐに役立つ2つの演目を習う程度で一日目を終了致しました。二日目は前回の復習と「カップ&ボール」・「3枚カード」の演技講習を行いました、その不思議



奇術協会 岳野 勝治
さに、自分で演じながら、自分で驚いておられました。

今回の実技講習には、前記の指導目標に添って毎回6〜7名の会員が受講者の皆様が何んとか、これを機会に興味を持って下さる事を願って助教を致しました。

受講者のお声として「すごく勉強になりました」「是非次回の講座にも受講したい」との事でした。

26年度後半

実技講座実施予定

初心者のための詩吟講座

吟剣詩舞道連盟

26年10月11日(土)・10月18日(土)

10月25日(土)

時間 13時30分〜16時

大正琴実技講座

大正琴連盟

26年11月23日(日)・11月30日(日)

時間 13時30分〜15時30分

クリスマスフラワーアレンジメント

フラワーデザイン協会

26年11月29日(土)・12月6日(土)

時間 13時30分〜15時30分

調布よさこいシロイロ

*平成26年8月31日(日)

民謡舞踊好友会参加

*流し踊り

旧甲州街道・調布〜布田間

*定点踊り

布多天神社

ハッピーまつり会場

調布駅南口広場

*出店

蓮慶寺前参道会場

ハッピーまつり会場

布多天神会場

調布駅南口広場

*文化協会は模擬店の

「かき氷」一杯二百円、

蓮慶寺前参道会場で実施



編集後記

津波の被害を受けた松島の商店街も復旧し観光客も見られました。塩釜水産物中卸市場は平常通りでした。釜が漁港の修復にはまだ時間が掛かる実状でした。厳しい環境の中で頑張る人達の姿に感動しました。

吉田 正夫

今回の会報作りは内容が、比較的多彩な割にはお陰様で執筆者のご協力により時間的には余裕を持って編集する事が出来ました。

次は8月9日(土)10日(日)の姉妹都市木島平村交流事業に取組みます。

岳野 勝治